

Easy Interactive Tools Ver.4.0操作ガイド



Easy Interactive Tools Ver.4.0操作ガイド



特長

Easy Interactive Toolsは、プロジェクターから投写している画面上で描 画ができるアプリケーションソフトです。

プロジェクターに同梱の電子ペン(Easy Interactive Pen)を使って、次の 描画機能を使用できます。また、指での入力に対応したプロジェクター をお使いのときは、投写画面を指で触れて描画することもできます。

投写した資料に描画(アノテーションモード)

投写した資料に説明のポイントや注意事項を書き込めます。イラストや 画像、図形などを使用して、効果的な授業や訴求力のあるプレゼンテー ションを実現できます。



☞「アノテーションモードで描画する」p.9

無地の背景に描画(ホワイトボードモード)

無地の画面を投写して、自由に文字や絵を書き込めます。方眼紙や五線 譜などの背景も選択できます。会議の記録や資料作成などに便利です。



●「ホワイトボードモードで描画する」p.11

便利な機能

- コンピューターのマウス操作をする
- ●「投写面からコンピューターを操作する(マウス操作)」p.10
- プロジェクターや書画カメラなど、コンピューターに接続した機器を 制御する
- ☞「ツールパネルの機能」p.15
- ☞「カメラ画面」p.17
- 投写画面に描画した内容を編集する
- ●「図形や画像を調整、編集する」p.25

- 描画した内容をPowerPointのスライドとして保存する
 - ◆「スライドショー描画ツール」p.26
- 遠隔会議に活用する

EasyMP Network ProjectionやEasyMP Multi PC Projectionを使って、コンピューターとプロジェクターをネットワーク接続すると、投写画面を遠隔地と共有できます。

Easy Interactive Toolsと同時に使用すると、複数拠点で同じ投写画面 に書き込みができます。(電子ペンまたは指を使った操作や描画は、 EasyMP Network Projectionのみ対応。)

EasyMP Network Projection、EasyMP Multi PC Projectionの詳細はhttp:// www.epson.jp/ をご覧ください。

動作環境

Windows

OS	Windows Vista [®]	Ultimate 32ビット Enterprise 32ビット Business 32ビット Home Premium 32ビット Home Basic 32ビット
	Windows 7	Ultimate 32/64ビット Enterprise 32/64ビット Professional 32/64ビット Home Premium 32/64ビット Home Basic 32ビット
	Windows 8	Windows 8 32/64ビット Windows 8 Pro 32/64ビット Windows 8 Enterprise 32/64ビッ ト

	Windows 8.1	Windows 8.1 32/64ビット Windows 8.1 Pro 32/64ビット Windows 8.1 Enterprise 32/64 ビット
CPU	Intel Core2 Duo 1.2GHz以上 推奨:Intel Core i3以上	
メモリー容量	1GB以上 推奨:2GB以上	
ハードディスク 空き容量	100MB以上	
ディスプレイ	XGA(1024x768) 以上、WUXGA(1920x1200) 以下の解 像度 16ビットカラー以上の表示色	

※ Service Pack 2以上

os	Х

OS*	OS X 10.7.x
	OS X 10.8.x
	OS X 10.9.x
	OS X 10.10.x
CPU	Intel Core2 Duo 1.2GHz以上
	推奨:Intel Core i5以上
メモリー容量	1GB以上
	推奨:2GB以上
ハードディスク	100MB以上
空き容量	
ディスプレイ	XGA(1024x768)以上、WUXGA(1920x1200)以下の解
	像度
	16ビットカラー以上の表示色

※ QuickTime 7.7以降が必要です。

TOP

4

Easy Interactive Tools をインストールする



インストールの方法

🏷 • 管理者権限を持つユーザーでインストールしてください。

- 起動中のアプリケーションはすべて終了してからインストールを 始めてください。
- Easy Interactive Toolsで書画カメラの操作を行うときは、コマン ドバーの表示形態をカメラ用に設定できます。インストール画面 で主な使用方法を[カメラ画面への描画]に設定してください。 (この設定は[設定]画面の[一般設定]タブで変更できます。)

Windows

Π

コンピューターの電源を入れます。

2 コンピューターにEPSON Document Camera Software CD-ROM をセットします。

自動でインストール画面が起動します。インストール画面が起動しないときは、CD-ROM内のEIN_TTWInst.exeファイルをダブルクリックしてください。



画面の指示に従って、インストールします。

os x



コンピューターの電源を入れます。

2 コンピューターにEPSON Document Camera Software CD-ROM をセットします。





画面の指示に従って、インストールします。





Easy Interactive Toolsの最新のバージョン、お使いのプロジェクター との互換性については、以下のWebサイトを参照してください。 http://www.epson.jp/download/

アンインストールの方法

Windows Vista/Windows 7



[スタート]-[コントロールパネル]の順にクリックします。



3 [Easy Interactive Tools Ver.X.XX]を選択して、[アンインストール]をクリックします。

Windows 8/Windows 8.1



| チャームバーで[検索]を選択して、[Easy Interactive Tools | Ver.X.XX]を検索します。



[Easy Interactive Tools Ver.X.XX]を右クリック(長押し)して、 アプリバーから[アンインストール]を選択します。



[Easy Interactive Tools Ver.X.XX]を選択して、[アンインストール]を選択します。

os x

- [アプリケーション] [Easy Interactive Tools Ver.X.XX]の順に ダブルクリックします。
- **2** [Tools]フォルダー内の[Easy Interactive Tools Uninstaller]を 実行します。
- 3
- 画面の指示に従って、アンインストールしてください。



6

基本操作



7

Easy Interactive Toolsを起動する

Easy Interactive Toolsを起動する前に次の準備をしてください。



コンピューターとプロジェクターをUSBケーブルで接続する場合

- コンピューターのUSB端子とプロジェクターのUSB-B端子をUSBケーブ ルで接続します。
- •プロジェクターの環境設定メニューで、[拡張設定]を設定します。

コンピューターとプロジェクターをネットワーク経由で接続する場合

- コンピューターがネットワーク接続できるように、ネットワーク設定 をします。
- プロジェクターがネットワーク接続できるように、無線LANユニット またはLANケーブルを接続します。
- プロジェクターの環境設定メニューで、[ネットワーク]を設定します。
- プロジェクターに同梱のEPSON Projector Software CD-ROMから、 EasyMP Network ProjectionまたはEasyMP Multi PC Projectionをインス トールします。
- EasyMP Network Projectionのオプション設定画面で、[一般設定]タブ を選択して[インタラクティブペンを使用する]および[Easy Interactive Toolsを使用する]にチェックを付けます。
- EasyMP Multi PC Projectionを使って接続するときは、EasyMP Multi PC Projectionのオプション設定画面で、[一般設定]タブを選択して[Easy Interactive Toolsを使用する]にチェックを付けます。

- プロジェクターの電源を入れて、コンピューターの映像を投写します。
- コンピューターで Easy Interactive Toolsを起動します。
 - Windows Vista/Windows 7: [スタート]- [プログラム] (または [すべてのプログラム]) - [EPSON Projector] - [Easy Interactive Tools Ver.X.XX] の順に選択します。
 - Windows 8/Windows 8.1: [スタート]画面または[アプリ]画面で、[Easy Interactive Tools Ver.X.XX]をクリック(タップ)します。
 - OS X: [アプリケーション]フォルダーから[Easy Interactive Tools Ver.X.XX]をダブルクリックします。

Easy Interactive Toolsが起動し、ホーム画面が表示されます。







動画再生中にEasy Interactive Toolsを起動すると、動画再生画面が 黒くなることがあります。動画を再生しているアプリケーションソ フトを再起動してください。

電子ペン(Easy Interactive Pen)で操作する

Easy Interactive Toolsは、プロジェクターに同梱の電子ペン(Easy Interactive Pen)を使用して操作します。

電子ペンの機能や形状は電子ペンを同梱している機種によって異なりま す。詳しくは、プロジェクターの取扱説明書をご覧ください。

電子ペンに電池が入っていることを確認し、電源をオンにしてください。



- 電子ペンは2本同時に使用できます。ただし、以下のときは1本し か使用できません。
 - ・ネットワーク接続時
 - ・EB-465T/EB-460T/EB-455WT/EB-450WTを使用しているとき
 - Easy Interactive Toolsは、コンピューターに接続しているマウス など、最大6つのデバイスで同時に操作できます。OS Xを使用し ているときは、最大3つのデバイスで操作可能です。
 - ・以下の操作は1つのデバイスのみの操作に限られます。
 - ・ホーム画面、設定画面、カメラ画面、画像挿入画面、背景選択 画面の操作
 - ・同一の図形や画像の調整、編集
 - ・メニュー操作
 - ・テキスト入力
 - ・ホワイトボードモード時にウィンドウ表示しているときの操作

注意

電子ペンのペン先部分(a)を持ったり、傷や汚れを付けたりしないでください。電子ペンが動作しないことがあります。



指で操作する(タッチ操作)

電子ペン(Easy Interactive Pen)を使用して可能な操作は、指を使っても 同様に操作可能です(指での入力に対応したプロジェクターをお使いの ときのみ)。



指で操作するときは、2本の指で拡大・縮小などの操作をするマルチタッ チ操作が可能です。最大6点までのマルチタッチを認識します。指で複 数人同時に操作するときは、全員が同じ描画ツールでの操作となりま す。

描画する

コマンドバーと描画ツールバーから、目的に応じた機能を選択して描画 します。



① コマンドバー

モードの切り替えやファイルの保存、接続機器の制御や各種設定を行います。

2 描画ツールバー

描画するペンの太さや色、図形やテキストなどを選択して描画エリア に描画します。

2つの描画モード

Easy Interactive Toolsには2つの描画モードがあります。使用するモードを切り替えることで、以下のように画面が変わります。

アノテーションモード

コンピューターで表示している資料に 描画できます。資料の重要なポイント を強調したり補足を書き込んだりする のに便利です。 また、書画カメラからの映像に描画す ることもできます。



ホワイトボードモード

無地の画面を表示して描画できます。 描画エリアをページとして扱うことが でき、複数のページを作成して描画で きます。 また、描画内容をファイルとして保存 したり、過去に保存したファイルを開 いたりできます。



アノテーションモードで描画する

アノテーションモードでコンピューターの画面または書画カメラで撮影 している映像に描画する方法を説明します。





ホーム画面で[デスクトップに描画]を選択するか、コマンドバー で【 🖵 】を選択します。

アノテーションモードに移行し、コンピューターの画面を表示し ます。



☞「カメラ画面」p.17



13 投写面に書き込みをします。

ペンの色や太さを変えたいときは、【 ___ 】の横の【 ▼ 】を 選択して、ペンパレットを表示します。 ペンの色と太さを選択したら、【 ▶ 】を選択してペンパレッ トを閉じます。

 書き込みを取り消したいときは、描画ツールバーで【 ◆ 】または
 【 ▲ 】を選択します。

- •【 ◆】を選択した場合:電子ペンが消しゴムとして使えます。
- 【 🔄 】を選択した場合:表示中の描画内容をすべて消します。

5 描画内容を保存したいときは、コマンドバーで【 💾 】を選択しま す。

表示中の画面を、JPG、BMP、PNG、PDF、EITのいずれかのファイ ル形式で保存します。

ファイルの保存先、ファイル名、ファイル形式は[設定]画面の [保存設定]タブで設定できます。

☞「保存設定タブ」p.21



投写面からコンピューターを操作する(マウス操作)

アノテーションモード時に描画ツールバーで【 🖰 】を選択すると、投

写面上でコンピューターの操作が可能になります(マウス操作)。

マウス操作時は、電子ペンをマウスと同じように使って、クリック、右 クリック、ドラッグ&ドロップなどの操作ができます。

- クリック: 投写面にペン先を押し付けてすぐ離す
- 右クリック:電子ペンの右ボタンを押す、または投写面にペン先を長く押し付けて離す
- ドラッグ&ドロップ:移動したいアイコン等の上でペン先を押し付けて、投写面から離さずに移動し、移動先でペン先を離す





ホワイトボードモードで描画する

ホワイトボードモードで無地のページに描画する方法を説明します。 ホワイトボードモード時は、コマンドバーからページを追加したり、 ページー覧画面を表示してページ操作をしたりできます。

- ホーム画面で[新規作成]を選択するか、コマンドバーで【 📙 】 1 を選択します。 ホワイトボードモードに移行し、新規ページを表示します。 過去に保存したファイルを開きたいときは、ホーム画面で [開く]を選択するか、コマンドバーで【 📩 】を選択します。 描画ツールバーで【 🥒 】を選択します。 2 ページに書き込みをします。 3 ペンの色や太さを変えたいときは、【 二/ 】の横の【 ▼ 】を 選択して、ペンパレットを表示します。 ペンの色と太さを選択したら、【 ▶】を選択してペンパレッ トを閉じます。 書き込みを取り消したいときは、描画ツールバーで【 🔦 】また 4 は【 🔜 】を選択します。
 - •【 🔦 】を選択した場合:電子ペンが消しゴムとして使えます。

- 【 【 】 を選択した場合:表示中のページの内容をすべて消します。
- S ページの追加/削除、複製や移動をしたいときは、コマンドバー から行います。
 ページー覧画面にページのサムネイル画像を一覧表示します。
 ・サムネイル画像を選択:表示するページを切り替え
 ・サムネイル画像をドラッグ&ドロップ:ページの順序を入れ替え
 新規ページを追加して、そのページを表示します。

 新規ページを複製します。

 表示中のページを複製します。
 - 表示中のページの1つ前のページを表示します。

表示中のページの1つ後ろのページを表示します。

6 描画内容を保存したいときは、コマンドバーで【 💾 】を選択しま す。

ホワイトボードモードで全体表示をしているときは、【 🗒 】を選

択後、[上書き保存]または[名前を付けて保存]を選択します。

描画したすべてのページを、JPG、BMP、PNG、PDF、EITのいずれ かのファイル形式で保存します。

再編集可能な状態でファイルを保存したいときは、EIT形式を選択 してください。





保存形式	保存単位
JPG/BMP/PNG	1ページを1ファイルとして、全ページ 保存します。
PDF/EIT	全ページを1ファイルにまとめて保存します。

ファイルの保存先、ファイル名、ファイル形式は[設定]画面の [保存設定]タブで設定できます。

☞「保存設定タブ」p.21

全体表示とウィンドウ表示を切り替える

ホワイトボードモード時にコマンドバーで【 🗗 】/【 🗖 】を選択する

と、描画画面の全体表示とウィンドウ表示を切り替えます。



・ウィンドウ表示中は、使用できる電子ペンが1本になります。
 ・ウィンドウ表示中は、ウィンドウ外の操作がコンピューターのマウス操作になります。

Easy Interactive Toolsを終了する

以下のいずれかの方法で、Easy Interactive Toolsを終了します。

- コマンドバーの【 🔀 】をクリックする
- Windows:タスクトレイメニューの【 🚬 】をクリックして、ポップ

アップメニューから[終了]をクリックする



 OS X: Dockの【
 】を長押しして、ポップアップメニューから[終 了]をクリックする



ホーム画面の機能



ホーム画面では、以下の機能を実行できます。



デスクトップに描画

アノテーションモードに移行して、コンピューターの画面を投写します。

2 新規作成

ホワイトボードモードに移行して、新規ファイルを開きます。

3 開く

ホワイトボードモードに移行して、過去に保存したファイルを開きます。EITファイルまたは.avi形式(Windowsの場合)または.mov形式(OS Xの場合)の動画ファイルを選択できます。

④ 最近使ったファイル

ホワイトボードモードに移行して、最近使用したファイルを開きます。EITファイルまたは.avi形式(Windowsの場合)または.mov形式(OS Xの場合)の動画ファイルを選択できます。

アノテーションモードに移行して、書画カメラからの映像を投写しま す。

O ウェブブラウザー

アノテーションモードに移行して、コンピューターのWebブラウザを 起動します。

🕖 その他のアプリケーション

よく使用するアプリケーションのショートカットを、最大6つまで登録できます。

アプリケーションのショートカットアイコンを、空いている枠にド ラッグ&ドロップするとアプリケーションが登録できます。登録した アプリケーションは、ホーム画面の外にドラッグ&ドロップすると登 録解除できます。

コンピューターに EasyMP Network Projection や EasyMP Multi PC Projectionがインストールされているときは、これらのアプリケーションが自動で登録されます。これらのアプリケーションは登録解除できません。

5 カメラ

コマンドバーの機能





☞「保存設定タブ」p.21

コマンドバーの機能







十字カーソルをドラッグして選択した範囲の映像が拡大表示

表示中の画面を印刷します。ホワイトボードモード時は、す べてのページが印刷されます。また、印刷設定画面で印刷対 象のページを選択することもできます。

キャプチャー

表示中の画面をキャプチャーし、クリップボードにコピーし ます。クリップボードにコピーできるデータは1つです。

> ホワイトボードモードでウインドウ表示をし ているときは、ウィンドウ枠の外に描かれた 注釈はコピーされません。

右クリック

(アノテーションモードでマウス操作時のみ使用可能) ペンでのクリックが1回だけ右クリックとして機能します。 その後は通常のクリックに戻ります。

(アノテーションモードでマウス操作時のみ使用可能) ヘルプを表示します。

コマンドバーの機能





画面上に仮想キーボードを表示します。仮想キーボードの キーを選択することで、キーボードから文字の入力やコン ピューターの制御ができます。 8

0

プロジェクター制御

下記のボタンを選択して、プロジェクターを制御します。 コンピューターとネットワーク接続しているプロジェクター を制御するときは、[設定]画面の[プロジェクター設定]タ ブでプロジェクターのネットワーク情報を設定します。

- ☞「プロジェクター設定タブ」 p.23
- 【二】:コンピューター入力端子に接続している機器 からの映像に切り替えます。
- 【 ---- 】: ビデオ入力端子に接続している機器からの映像に切り替えます。
- 【 <u>品</u>】: ネットワーク経由で接続している機器からの 映像に切り替えます。
- ●【 ← 】:USB端子に接続している機器からの映像に切り替えます。
- •【 || 】: 投写中の映像を一時停止/解除します。
- 【
- 【 🖤 】: プロジェクターから出力する音声を大きくし ます。
- 【 型 】: プロジェクターから出力する音声を小さくします。

😑 シェード

9

投写画面をシェードで覆い隠します。4辺をドラッグすると、 シェード範囲を変更できます。

【×】をクリックするとシェードが終了します。





0

12

B

🔉 スポットライト

スポットライトの効果を使って、投写画面の内容を強調しま す。スポットライトの枠をドラッグすると、表示範囲を変更 できます。

【×】をクリックするとスポットライトが終了します。

スポットライトの形状は、[設定]画面の[一般設定]タブで 変更できます。

下記はホワイトボードモード時のみ使用できます。

▲ 背景選択

あらかじめ用意された9種類の背景パターンからページの背 景を選択できます。

また、現在のデスクトップ画面の静止画、画像ファイル、書 画カメラの映像からも背景を選択できます。

貼り付け クリップボードにコピーされたデータを表示中のページに貼 り付けます。

一 画像挿入

表示中のページに読み込む画像を選択します。選択できる ファイル形式はJPG、BMP、PNGです。

カメラ画面

コマンドバーで【 의 】を選択したときは、カメラ画面が表示されます。

カメラ画面では、コンピューターに接続されている書画カメラの映像を 表示します。映像のサイズや明るさなどの調整を行い、画像ファイルま たは動画ファイルとして保存できます。

※お使いの書画カメラによって、使用できる機能が異なります。



● 書画カメラの選択

コンピューターに接続されている書画カメラがリスト表示されます。リ ストからカメラ画面に投写する書画カメラを選択します。

2 回転

映像を180度回転します。

🕄 拡大/縮小

コマンドバーの機能



- 【 Q 】: 十字カーソルをドラッグして選択した範囲の映像を、 拡大して別ウィンドウで表示します。別ウィンドウで表示している映像は、録画または保存できません。
- 【
 【

 <li
- 【
 【

 <li
- **4** x1

拡大/縮小していない映像サイズに戻します。

6 全画面表示

カメラ画面を全画面表示に切り替えます。ウィンドウ表示に戻すとき は、【 🖂 】をクリックします。

る オートフォーカス

映像のピントを自動で合わせます。

🖉 静止

映像を一時的に停止します。

8 録画

- 【●】:書画カメラの映像(描画を含まない)と音声を録画/録音します。録画中は、カメラ映像の右下に録画時間が表示されます。音声が録音されないときは、[設定]画面の[カメラ設定]タブで音声を入力するオーディオデバイスを設定してください。
 ●「カメラ設定タブ」p.21
- •【
 【
 【
 】:書画カメラの映像(描画を含まない)を1秒間隔で録画します。音声は録音されません。
- ●【 ■】:録画を停止します。

録画された映像は.avi形式(Windowsの場合) / .mov形式(OS Xの場合)で 保存されます。

録画された映像の保存先は、[設定]画面の[カメラ設定]タブで設定します。

- ☞「カメラ設定タブ」 p.21
- 静止画保存

表示中の映像(描画を含む)を静止画として保存します。

🕕 画像の取り込み

書画カメラの映像を、ホワイトボードモードのページに画像として貼り 付けます。

※コマンドバーの表示形態を[カメラ]に設定しているときは使用できません。

● 画質調整

コマンドバーの機能



画質調整ウィンドウを表示します。

- 【①】: 映像のコントラストを調整します。コントラストを上 げたいときはスライダーを右側へ、コントラストを下げたいと きはスライダーを左側へスライドさせます。
- 【 ☆ 】 : 映像の明るさを調整します。明度を上げたいときはス ライダーを右側へ、明度を下げたいときはスライダーを左側へ スライドさせます。
- ●【WB】:映像のホワイトバランス(色合い)を調整します。青み を強くしたいときはスライダーを右側へ、赤みを強くしたいと きはスライダーを左側へスライドさせます。[オートホワイト バランス]にチェックを入れると、映像のホワイトバランスが 自動で調整されます。
- 初期化: 明るさ/コントラスト/ホワイトバランスを初期値に戻 します。

※接続している書画カメラが明るさ調整/コントラスト調整/ホワイトバ ランス調整機能を搭載していないときは使用できません。

- 1 パンチルト 映像の位置をドラッグ&ドロップで移動します(映像を拡大していると きのみ)。
- Ⅰ 描画 描画ツールバーを使って、映像に描画します。

設定画面

コマンドバーで【후 】-【 💦 】の順に選択すると、[設定]画面が表示 されます。

一般設定タブ

C. 1. +1.	
0 420	1• 信华
スポットライトの形	
0	
スライドショー描画ツール ――	
 使用する 	C 使用しない
右クリック設定	
描画ツールバーを開く	_
カラーバレット	
● パレット1	○ パレット2
画面自動クリアー	
◎ 画面クリアする	○ 画面クリアしない
プリセットベンの太さ―――	
C 細い	(太)
「ラマンドバー大力マン」「設定す	+2
コマンドハーをガメブに設定。	10

ツールバーのサイズ	ツールバーのサイズを[小さい]または[標準]に設定 します。
スポットライトの形	スポットライトの形状を丸か四角に設定します。
スライドショー描画 ツール	PowerPointスライドを投写時、スライドショー専用 の描画ツールバーを使用するかを選択します。 ●「スライドショー描画ツール」p.26



右クリック設定	 描画エリアで右クリックしたときの動作を設定します。 「描画ツールバーを開く]:右クリックした位置に描画ツールバーを表示します。 [マウスモードに切り替え]:描画機能からマウス操作機能へ切り替えます(アノテーションモード時のみ)。 [ペンと消しゴムを切り替え]:描画機能と消しゴム機能を交互に切り替えます。 [オフ]:右クリックしても何も起こりません。
カラーパレット	[パレット2]を選択すると、色弱の方にも見やすい 配色のパレットに変わります。初期設定のパレット の色が見えにくい方は、[パレット2]をお試しくだ さい。
画面自動クリア	 [画面クリアする]を選択すると、次の動作にあわせて描画した内容をすべて消去します。 アノテーションモードで描画操作からマウス操作へ切り替える ページアップ/ページダウンする
プリセットペンの太さ	黒ペン、赤ペン、青ペンで描画する細い線、太い線 の太さの組み合わせを細めまたは太めに設定しま す。
コマンドバーをカメラ に設定する	コマンドバーの表示形態をカメラ用に設定します。
バージョン情報	お使いのEasy Interactive Toolsのバージョン情報を表示します。

言語設定タブ(Windowsのみ)

設定		
 → 酸酸定 言語の 日本 	■諸政定 (採存設定 カメラ設定 ホワイトホードモード設定 プロジェクター 変更	-設定
言語の	変更は次回起動時に有効になります。	

言語の変更	Easy Interactive Toolsの表示言語を設定します。設定
	はEasy Interactive Toolsの再起動後に有効になります。

コマンドバーの機能



保存設定タブ

設定			— ———————————————————————————————————
一般設定 言語設定 保存設定 1	コメラ設定 ホワイトボードモー	-ド設定 ブロジェク	ター設定
□ 保存時に破認を行う			
▼ 1米仔細に確認がとけり マノニーションエードの保存生			
保存先フォルダー			
ファイル名			
ファイルの種類	Easy Interactive Tools (*eit)		
C	JPEG (*.jpg;*.jpeg)	O PNG (*png)	
01	ビットマップ (*bmp)		
0	PDF ファイル (*pdf)		
- ホリイトホードモードの採存先			
1*1+75.27772			
ファイル名			
,			
ファイルの種類	Easy Interactive Tools (*eit)		
C.	JPEG (*.ipg;*.ipeg)	C PNG (*png)	
CI	ビットマップ (*bmp)		
C	PDF ファイル (*pdf)		
		1	
2011月	個に戻す	ОК	キャンセル

保存時に確認を行う	チェックを入れると、画面の保存時に保存先/ファイ ル名/ファイル形式を設定する画面を表示します。
保存先フォルダー	画面の保存先フォルダーを設定します。 画面の保存先フォルダーの初期設定は以下です。
	Windows <起動ドライブ>:\users\<ユーザー名>\Documents \Easy Interactive Tools
	OS X <起動ドライブ>:\Users\<ユーザー名>\Documents \Easy Interactive Tools

ファイル名	保存するファイル名を設定します。32文字まで入力 できます。(「V:*?"<> 」は使用できません。) ファイルの保存時、ファイル名の末尾に、数字と拡 張子が自動で追加されます。 例:AAA0001.jpg
ファイルの種類	保存するファイル形式を設定します。

カメラ設定タブ

録画ビデオの保存先 —		
保存先フォルダー		
ファイル名		
カメラ画像の保存先――		
保存先フォルダー		
ファイル名		
ファイルの種類	で JPEG (*.jpg:*.jpgg)	ng)
オーディオ 「 音声なし		
☑ 自動的にオーディオ: オーディオデバイス	デバイスを選択する。	
	,	

保存時に確認を行う	チェックを入れると、動画または画面の保存時に保
	存先/ファイル名を設定する画面を表示します。



保存先フォルダー	動画または画面の保存先フォルダーを設定します。 動画または画面の保存先フォルダーの初期設定は以 下です。	ホ !	フイト
	Windows <起動ドライブ>:\users\<ユーザー名>\Documents \Easy Interactive Tools OS X <起動ドライブ>:\Users\<ユーザー名>\Documents \Easy Interactive Tools		
ファイル名	保存するファイル名を設定します。32文字まで入力 できます。(「V:*?" <>」」は使用できません。) ファイルの保存時、ファイル名の末尾に、数字と拡 張子が自動で追加されます。 例: AAA0001.avi		
ファイルの種類	保存するファイル形式を決定します。		
音声なし	映像を録画するときに音声を録音したくない場合 は、チェックを入れます。		
自動的にオーディオデ バイスを選択する	チェックを入れると、映像を録画するときに使用す るオーディオデバイスを自動で選択します。		
オーディオデバイス	映像を録画するときに使用するオーディオデバイス を選択します。[自動的にオーディオデバイスを選 択する]にチェックを入れているときは選択できま せん。		~->

ホワイトボードモード設定タブ

一般設定 言語設定 保	存設定 カメラ設定 ホワイトボードモード設定 :	プロジェクター設定
「ページー覧の表示位置	<u>-</u>	
● 左側	○ 右側	
- ホワイトボードモード =	コマンドバーの位置	
●上	C F	

ページー覧の表示位置	ホワイトボードモード時にページー覧を表示する位 置を設定します。
ホワイトボードモード コマンドバーの位置	コマンドバーを表示する位置を設定します。

コマンドバーの機能



プロジェクター設定タブ

設定							—
-	般設定 言語:	設定 保存設定	カメラ設定	ホワイトボードモ	ード設定	プロジェクタ	一設定
[-操作対象ブロ プロジェクター	ジェクター ―― ・名					
	IPアドレス		,			接続確認	2
	Monitorパスワ	フード					
		¥٦.	期値に戻す			ОК	キャンセル

プロジェクター名	操作対象に指定したプロジェクター名を表示します (表示のみ)。
IPアドレス	ネットワークに接続しているプロジェクターの中から、Easy Interactive Toolsで制御するプロジェクターのIPアドレスを指定します。 [接続確認]ボタンを選択すると、指定したプロジェクターと接続します。
Monitorパスワード	プロジェクターに設定されているMonitorパスワード を入力します。半角英数字で16文字まで入力できま す。パスワードが正しくないときは、プロジェク ターに接続できません。





描画ツールバーの機能





図形や画像を調整、編集する

描画した図や線、挿入した画像を調整、編集できます。

● 拡大、縮小

描画ツールバーの【 **▶**】を選択し、オブジェクトを選択して拡大・縮 小ハンドルをドラッグします。



指を使って拡大・縮小するときは、オブジェクトを選択して、オブ ジェクト上の2点を指でタッチしてください。拡大するときは、タッ チしている2点が離れるように指を動かします。縮小するときは、タッ チしている2点が近づくように指を動かします。

●回転

描画ツールバーの【 **▶**】を選択し、オブジェクトを選択して回転ハン ドルを操作します。



指を使って回転するときは、オブジェクトを選択して、オブジェクト 上の2点を指でタッチしてください。タッチしている2点を回転したい 方向に動かすと、オブジェクトが回転します。

描画ツールバーの機能





描画ツールバーの【 📡 】を選択し、オブジェクトを選択して【 ▼ 】を選

択すると、サブメニューから下記の操作ができます。

複製	選択したオブジェクトと同じオブジェクトを作成 し、複製元の右下に貼り付けます。複数のオブジェ クトを選択可能です。
連続複製	選択したオブジェクトをドラッグ&ドロップで複製 できる状態(連続複製状態)にします。オブジェクト
	枠の右上にある【 🔄 】をクリックして【 🛨 】にし
	た場合にも、連続複製状態になります。
連続複製解除	選択したオブジェクトが連続複製状態になっている 場合、連続複製を解除します。オブジェクト枠の右
	上にある【 🛨 】をクリックして【 🔛 】にした場合
	にも、連続複製状態を解除できます。
コピー	選択したオブジェクトをクリップボードへコピーし ます。複数のオブジェクトを選択可能です。
貼り付け	コピーしたオブジェクトを貼り付けます。
編集	選択したテキストを編集します。
グループ化	選択した複数のオブジェクトを1つのオブジェクト にグループ化します。
グループ解除	選択したオブジェクトがグループ化されている場 合、グループ化を解除します。
最前面へ移動 最背面へ移動 前面へ移動 背面へ移動	選択したオブジェクトの重なり順を変更します。複 数のオブジェクトを選択可能です。

削除 選択したオブジェクトを削除します。複数のオブ ジェクトを選択可能です。



スライドショー描画ツール

PowerPointのスライドショーを開始すると、描画ツールバーは以下のように切り替わり、PowerPointの描画ツールを使えます。



画面の左右にある【 ▶】【 ◀ 】をクリックすると、描画ツールの表示位
置を変更できます。

- •【 ▶】: 描画ツールを画面の左端に表示します。
- •【 < 】: 描画ツールを画面の右端に表示します。

Windowsをお使いの場合は、描画した内容をPowerPointスライドとして そのまま保存することができます。

OS Xの場合は描画のみ可能です。

描画ツールバーの機能





• PowerPointのスライドショーを開始する前に、Easy Interactive Toolsを記載しておいてください。 Toolsを起動しておいてください。

• PowerPoint描画ツールを使用するか、使用しないかの設定は[-般設定]タブで設定できます。

☞「一般設定タブ」p.19

以下のPowerPointのバージョンに対応しています。

Windows	Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010/2013
OS X	Microsoft PowerPoint 2008/2011



問題	対処法
言語の変更後、文字化けする	お使いの環境にその言語のフォントがないと文字化けが発生します。 設定画面の[初期値に戻す]で初期設定に戻してください。 ☞「設定画面」p.19
2人でペンを使用しているとき、1人が操作できなくなる	以下の操作中は、電子ペンを操作できるのは1人です。 • マウス操作時およびホワイトボードモードでウィンドウ表示中 • ホーム画面、設定画面、カメラ画面、画像挿入画面、背景選択画面の操作中 • 同一の図形や画像の調整、編集中 • メニュー操作中 • テキスト入力中
Keynoteに描画できない	OS XではKeynoteに描画できません。
領域拡大で正しく表示できない	以下の制限があります。 Microsoft DirectXの機能を使っているアプリケーションは、領域拡大で正しく表示できないことがあります。(Windows Vistaのみ) DVDプレーヤーの映像は、領域拡大で正しく表示できません。(OS X 10.7.xのみ)
Media Playerの映像の画面保存や印刷ができない	以下の制限があります。 Microsoft DirectXの機能を使っているアプリケーションの映像は、正しく画面を保存・印刷できないことがあります。 DVDプレーヤーの映像は、正しく画面を保存・印刷できません。(OS X 10.7.xのみ)
EITファイルを開いたときに描画が正しく読み込めない	 ・異なる解像度のコンピューターでEITファイルを開くと、一部の描画が表示されないことがあります。EIT ファイルを作成したときと同じ解像度のコンピューターでEITファイルを開いてください。 ・EITファイルが壊れている可能性があります。読み込めなかった描画は再度作成してください。
録画した映像が正しく表示できない	 Windowsで録画したファイルはWindows Media Playerで再生してください。 OS Xで録画したファイルはQuickTime Player 7.7以上で再生してください。 ※お使いの書画カメラによって、音声が録音されないことがあります。

−般のご注意



ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な 点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお 願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(「お問い合わせた」参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または 消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負い かねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

表記について

Microsoft[®] Windows Vista[®] operating system Microsoft[®] Windows[®] 7 operating system Microsoft[®] Windows[®] 8 operating system Microsoft[®] Windows[®] 8.1 operating system

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「Windows Vista」、 「Windows 7」、「Windows 8」、「Windows 8.1」と表記しています。また、 Windows Vista、Windows 7、Windows 8、Windows 8.1を総称する場合は Windows、複数のWindowsを併記する場合はWindows Vista/7/8のように、 Windowsの表記を省略することがあります。

OS X 10.7.x OS X 10.8.x OS X 10.9.x OS X 10.10.x 本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、「OS X 10.7.x」、「OS X 10.8.x」、「OS X 10.9.x」、「OS X 10.10.x」と表記しています。またこれらを総称 する場合は「OS X」と表記します。

商標について:

Keynote、Mac、Mac OS、OS XはApple Inc.の登録商標です。

Microsoft、DirectX、Microsoft Office、PowerPoint、Windows、Windows Vista は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登 録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これ を十分尊重いたします。

Open Source Software License

zlib

This projector product includes the open source software program "zlib" which applies the terms and conditions provided by owner of the copyright to the "zlib".

The "zlib" are WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

List of zlib programs

zlib-1.2.8

License terms of conditions of each program which are provided by owner of the copyright to the "zlib" are as follows.

Copyright notice:

(C) 1995-1998 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

一般のご注意

- 1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
- 2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
- 3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly	Mark Adler
jloup@gzip.org	madler@alumni.caltech.edu

If you use the zlib library in a product, we would appreciate *not* receiving lengthy legal documents to sign. The sources are provided for free but without warranty of any kind. The library has been entirely written by Jeanloup Gailly and Mark Adler; it does not include third-party code.

If you redistribute modified sources, we would appreciate that you include in the file ChangeLog history information documenting your changes.

©SEIKO EPSON CORPORATION 2015. All rights reserved.

412963700JA

TOP